

2025年6月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月13日

上場会社名 株式会社JDSC
コード番号 4418 URL <https://jdsc.ai/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO
半期報告書提出予定日 2025年2月14日
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

上場取引所 東
TEL 03(6773)5348

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年7月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	11,938	111.9	328	6,201.4	290		106	
2024年6月期中間期	5,634	505.2	5	90.7	28		73	

(注) 包括利益 2025年6月期中間期 150百万円 (%) 2024年6月期中間期 70百万円 (%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円銭	円銭
2025年6月期中間期	7.74	7.73
2024年6月期中間期	5.53	

(注) 1. 2024年6月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、1株当たり中間純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期中間期	8,144	3,856	45.9
2024年6月期	7,605	3,361	43.3

(参考) 自己資本 2025年6月期中間期 3,740百万円 2024年6月期 3,289百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2024年6月期		0.00		0.00	0.00
2025年6月期		0.00			
2025年6月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	21,000	27.6	500	886.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年6月期中間期	13,806,600 株	2024年6月期	13,359,800 株
期末自己株式数	2025年6月期中間期	101,864 株	2024年6月期	81,500 株
期中平均株式数 (中間期)	2025年6月期中間期	13,689,544 株	2024年6月期中間期	13,199,558 株

第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(中間決算説明会資料の入手方法について)

当社は、2025年2月13日 (木) に機関投資家及びアナリスト向け説明会 (オンライン説明会) を開催する予定です。当日の説明会資料については、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結貸借対照表に関する注記)	8
(中間連結損益計算書に関する注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「UPGRADE JAPAN」をミッションとして掲げ、「AIでデータの真価を解き放ち産業の常識を塗り替える」というビジョンを実現すべく、データサイエンスや機械学習、AIといった最先端の技術を社会に実装することを目指しております。

従来のDX活用/AI導入の支援などの労働集約的なビジネスに加えて、自社AIソリューションを中心とした非労働集約的な収益の獲得も目指しており、AIソリューション開発プロジェクト獲得や研究開発、先行投資としての積極的な人材採用に引き続き注力いたしました。「Chat GPT」をはじめとするLLM(大規模言語モデル)の活用をテーマとするプロジェクトも増加しており、AIの利活用に対する需要の高まりに機動的に対応する形で事業運営を行っております。

また、グループ会社の株式会社ファイナンス・プロデュースではスタートアップの資金調達やM&Aを助言する案件を多数獲得・実行し、メールカスタマーセンター株式会社では紙のダイレクトメール(DM)発送代行において既存顧客の取引窓口の拡大や新規受注の獲得を行いました。

AIソリューション事業については、AIソリューションの横展開事例の増加や、新規顧客獲得や既存顧客からのアップセル等もあり好調に推移しました。フィナンシャル・アドバイザー事業については、ファイナンス戦略アドバイザー及びスタートアップの資金調達助言等の案件を複数実行しました。マーケティング支援事業については、紙のダイレクトメール(DM)発送代行において既存顧客の取引窓口の拡大や新規受注の獲得が順調に進展しました。

これらの結果、当中間連結会計年度における当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高については、新たなAIソリューション開発プロジェクト(Joint R&D)の獲得、既存のAIソリューションの拡販、既存顧客からのアップセル等の施策を積極的に進め、また、前中間会計期間よりメールカスタマーセンター株式会社の連結子会社化を行った結果、11,938,887千円(前年同期比111.9%増)となり、売上総利益については、1,195,955千円(前年同期比80.5%増)となりました。

営業利益については、人材採用といった先行投資を引き続き積極的に進めながらも、上記のとおり売上高の増加に伴い、328,734千円(前年同期比6,201.4%増)となりました。特に人材採用については当社の今後の成長に必要なことから積極的に進めておりますが、業務委託費をコントロールする等、適切なコスト構造への移行を進めております。

経常利益については、借入金の支払利息の増加に伴い290,391千円(前年同期は28,130千円の経常損失)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は106,087千円(前年同期は73,078千円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

なお、当社グループの中間会計年度におけるセグメント別の損益状況については「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は8,144,144千円となり、前中間会計年度末に比べ538,791千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が260,178千円、受取手形、売掛金及び契約資産が181,849千円増加したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は4,287,297千円となり、前連結会計年度末に比べ43,132千円増加いたしました。これは主に、買掛金が55,173千円、未払法人税等が138,091千円、未払消費税等が41,816千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は3,856,846千円となり、前連結会計年度末に比べ495,658千円増加いたしました。これは主に、資本剰余金が361,245千円、利益剰余金が106,087千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の連結業績予想につきましては、売上高及び営業利益が2024年8月13日時点の前回予想を上回ると見込まれるため、業績予想を上方修正することといたしました。業績予想の詳細に関しては、本日(2025年2月13日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。また、市場環境及び足元の状況を踏まえ、2025年6月期からの3ヵ年を対象とする中期経営計画(2025年6月期~2028年6月期)を策定し、2024年12月19日付「中期経営計画策定に関するお知らせ」を公表しております。今後、中期経営計画の達成による飛躍的な企業価値向上を目指してまいります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,297,785	2,557,963
受取手形、売掛金及び契約資産	2,712,745	2,894,594
前払費用	53,611	43,067
その他	117,088	221,161
貸倒引当金	△54	△38,562
流動資産合計	5,181,177	5,678,225
固定資産		
有形固定資産	72,493	69,737
無形固定資産		
のれん	644,940	628,189
顧客関連資産	1,212,750	1,181,250
その他	333	1,645
無形固定資産合計	1,858,024	1,811,085
投資その他の資産		
その他	511,994	611,295
貸倒引当金	△18,337	△26,199
投資その他の資産合計	493,657	585,096
固定資産合計	2,424,175	2,465,918
資産合計	7,605,353	8,144,144
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,797,090	1,852,263
1年内返済予定の長期借入金	254,436	254,436
未払金	146,607	100,402
未払法人税等	37,546	175,638
未払消費税等	38,271	80,088
契約負債	23,907	30,995
賞与引当金	2,380	34,877
その他	121,749	80,202
流動負債合計	2,421,990	2,608,904
固定負債		
長期借入金	1,392,139	1,264,921
退職給付に係る負債	31,653	29,100
資産除去債務	20,331	20,409
その他	378,049	363,962
固定負債合計	1,822,173	1,678,393
負債合計	4,244,164	4,287,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,955	11,182
資本剰余金	3,764,356	4,125,601
利益剰余金	△426,980	△320,893
自己株式	△60,465	△74,900
株主資本合計	3,289,865	3,740,989
新株予約権	828	780
非支配株主持分	70,494	115,076
純資産合計	3,361,188	3,856,846
負債純資産合計	7,605,353	8,144,144

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	5,634,201	11,938,887
売上原価	4,971,629	10,742,932
売上総利益	662,572	1,195,955
販売費及び一般管理費	※1 657,355	※1 867,221
営業利益	5,216	328,734
営業外収益		
受取利息	163	435
受取手数料	26	138
還付加算金	—	558
貸倒引当金戻入額	3,549	—
その他	961	449
営業外収益合計	4,701	1,582
営業外費用		
支払利息	5,276	11,407
投資事業組合運用損	3,303	3,589
持分法による投資損失	9,381	19,604
その他	20,087	5,323
営業外費用合計	38,049	39,925
経常利益又は経常損失(△)	△28,130	290,391
特別利益		
固定資産売却益	—	175
新株予約権戻入益	21	—
特別利益合計	21	175
特別損失		
固定資産売却損	—	89
特別調査関連費用	—	※2 5,026
特別損失合計	—	5,116
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△28,109	285,449
法人税、住民税及び事業税	21,855	※3 157,506
法人税等調整額	20,241	△22,726
法人税等合計	42,096	134,780
中間純利益又は中間純損失(△)	△70,206	150,669
非支配株主に帰属する中間純利益	2,872	44,582
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△73,078	106,087

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
中間純利益又は中間純損失 (△)	△70,206	150,669
中間包括利益	△70,206	150,669
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△73,078	106,087
非支配株主に係る中間包括利益	2,872	44,582

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失 (△)	△28,109	285,449
減価償却費	23,181	39,797
のれん償却額	23,813	16,751
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,724	46,369
受取利息	△163	△435
支払利息	5,276	11,407
支払手数料	20,040	753
投資事業組合運用損益 (△は益)	3,303	3,589
持分法による投資損益 (△は益)	9,381	19,604
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△144,618	32,497
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2,253	△2,553
売上債権の増減額 (△は増加)	△215,288	△181,849
前払費用の増減額 (△は増加)	△10,899	10,544
仕入債務の増減額 (△は減少)	187,430	55,173
契約負債の増減額 (△は減少)	△9,364	7,087
未払金の増減額 (△は減少)	2,498	△46,205
未払費用の増減額 (△は減少)	△13,148	△50,180
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△42,769	41,816
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	15,875
その他	7,170	5,790
小計	△188,242	311,285
利息及び配当金の受取額	2,867	435
利息の支払額	△5,441	△11,241
法人税等の支払額	△157,389	△19,415
法人税等の還付額	—	50,868
営業活動によるキャッシュ・フロー	△348,206	331,932
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△3,300	△86,546
有形固定資産の取得による支出	△5,185	△1,515
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,716,515	—
投資事業組合からの分配による収入	—	19,087
貸付金の回収による収入	3,922	4,698
貸付けによる支出	—	△32,955
その他	54	△1,182
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,721,025	△98,413
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,760,000	—
短期借入金の返済による支出	△1,760,000	—
長期借入れによる収入	1,740,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,425	△127,218
株式の発行による収入	5,796	354,869
自己株式の取得による支出	—	△14,435
自己株式取得のための預け金の増減額 (△は増加)	—	△186,063
その他	△1,800	△495
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,742,570	26,658
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△326,661	260,178
現金及び現金同等物の期首残高	3,146,414	2,297,785
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 2,819,753	※ 2,557,963

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年7月1日を払込期日とする第三者割当増資の払込みにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ178,502千円増加しております。

また、2024年9月25日開催の定時株主総会の決議に基づき、2024年11月8日付で減資の効力が発生し、資本金が181,509千円減少し、この減少額全額をその他資本剰余金へ振り替えました。

さらに、新株予約権の行使に伴う新株の発行により、当中間連結会計期間において、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,233千円増加しております。

この結果、当中間連結会計期間末において資本金が11,182千円、資本剰余金が4,125,601千円となっております。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

当座貸越契約

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
当座貸越契約の残高	600,000千円	600,000千円
借入実行残高	—	—
差引額	600,000千円	600,000千円

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
貸倒引当金繰入額	—千円	46,369千円
給料手当	222,593千円	318,295千円
賞与引当金繰入額	12,794千円	28,609千円
退職給付費用	6,547千円	3,652千円

※2 特別調査関連費用

当連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

当社連結子会社の元従業員による不正行為に関する事実関係の調査に係る費用等を特別調査関連費用として計上しております。

※3 法人税、住民税及び事業税

当連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

当社連結子会社の元従業員による不正行為に関する法人税等の追徴見込み税額として、法人税、住民税及び事業税に56,418千円を計上しております。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
現金及び預金勘定	2,819,753千円	2,557,963千円
現金及び現金同等物	2,819,753	2,557,963

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間 連結損益計算書 計上額 (注) 2
	AIソリューション事業	フィナンシャル・アドバイザリー事業	マーケティング支援事業			
売上高						
外部顧客への売上高	822,966	72,825	4,738,410	5,634,201	—	5,634,201
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	822,966	72,825	4,738,410	5,634,201	—	5,634,201
セグメント利益又は 損失(△)	△17,915	△3,096	26,229	5,216	—	5,216

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間 連結損益計算書 計上額 (注) 2
	AIソリューション事業	フィナンシャル・アドバイザリー事業	マーケティング支援事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,368,254	222,051	10,348,581	11,938,887	—	11,938,887
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,400	—	717	5,117	△5,117	—
計	1,372,654	222,051	10,349,298	11,944,005	△5,117	11,938,887
セグメント利益	168,916	132,657	75,520	377,094	△48,359	328,734

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。